

科目名	図画工作科指導法					開講 キャンパス	神園
担当者	前村 晃						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選択
授業の概要 及びねらい	小学校図画工作科の役割、内容、指導計画の作成、指導案の書き方、子ども理解と児童作品の評価の関係、図画工作科教育の歴史等について具体的に解説する。必要に応じて演習形式で授業を行う。						
授業の 到達目標	1) 子どもの成長・発達に及ぼす図画工作科教育の役割が理解できる。 2) 図画工作科において多種多様な学習内容があることを理解できる。 3) 指導計画のあり方を理解し、適切な指導案を作成することができる。 4) 児童の作品は子どもの生活・心情を反映しているものであることを理解できる。 5) 図画工作科教育が様々な変遷を経て現在に至っていることを理解できる。						
学習方法	講義・演習						
テキスト及 び参考書等	参考書 小学校図画工作科教育の研究 宮脇 理編・前村 晃著 建帛社						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	◎						50
宿題・授業外レポート		○					10
授業態度			○				10
受講者の発表							
授業への参加度			○				10
その他					◎		20
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第1週	オリエンテーション						
第2週	図画工作科教育の役割						
第3週	子どもの発達と造形活動						
第4週	図画工作科の学習内容 「造形遊び」						
第5週	図画工作科の学習内容 「絵に表す」						
第6週	図画工作科の学習内容 「立体に表す」						
第7週	図画工作科の学習内容 「鑑賞」 鑑賞活動の意義						
第8週	図画工作科の学習内容 「鑑賞」 鑑賞活動の方法						
第9週	図画工作科における指導計画及び教材研究のあり方						
第10週	図画工作科学習指導案の作成						
第11週	学生による模擬授業1						
第12週	学生による模擬授業2						
第13週	児童作品の評価のあり方						
第14週	図画工作科教育の変遷						
第15週	まとめ						
第16週							
備考							